

# 元気を出そう！勇気を出そう！頑張っぺ！

## Part 4

2011.4.1

須賀川地区会長 渡辺徳之

この度の東日本大震災においては、大変な状況におかれている方も少なくないと思います。被災された会員の皆様、会員企業、ご家族と社員の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

会員企業の皆様におかれましては、この震災や津波での直接的間接的被害、また、今なお継続する原発の被害が日を増すごとに大きくなっているものだと思います。しかし、我々経営者は、それぞれの企業の存続を、社員の生活を、取引先の全てを守り続けて行く責務があります。この震災の早期復興は、民間活力が不可欠であります。そのためにも、会員の皆さんの叡智を結集し、一日でも早い復興をし、安全で安心なゆとりのある生活を取り戻し、一人でも多くの人々を福島へ迎え入れましょう。

今までに、私の方で知り得た情報をお知らせします。

### 社員への安心感、そして助け合いを...！

まず、社員とその家族の安否確認。その後、ライフライン・物資面（介護用品・医療品）での問題の掌握。あの震災から3週間が過ぎ、極度の緊張状態からの疲れが出てきています。肉体的にはもちろん、精神的なフォローも必要です。全社員で声を掛け合って、元気を分け合って下さい。経営者として、今こそ率先垂範です。

給与について。さまざまな助成金が活用できます。

事務局からのFax情報『同友会震災復興指針』を参考にして下さい。

詳細は、会長（090-2792-6931）事務局（024-934-3190）まで、お問い合わせ下さい。

### お客様・取引先への情報発信を...！

震災での直接被害、3週間での間接被害、3週間での復旧の詳細をまとめ、電話・Fax・メール・ホームページなどを駆使して正確な情報発信を行いましょう。この情報発信を多くの企業が、多くの人が行う事で『風評被害』の拡大を防ぐ事が出来ます。復興に対する強い意志と社員の団結力が取引先の信頼につながります。

## 金融機関へ粘り強い交渉を...！

直接被害・間接被害共に企業活動への影響の長期化が懸念されます。

様々な救済措置が講じられております。

今（何日まで）必要な資金（決済・返済・給与・仕入）を当面の企業活動が出来ない事を前提に確保して下さい。これから必要になる資金と別に考えて交渉しましょう。

当面の運転資金

これまでの運転・設備資金

災害に伴う事業活動の復旧資金

（業務を再開させるまでの設備資金と補填運転資金に区別）

災害前の水準まで回復させるためのつなぎ資金

に区別し、それぞれの性格・用途に合わせた資金計画を慎重に検討し、無理のない借入を心がけましょう。

既存借入の見直しと新しい救済融資を同時に交渉し、毎月の返済金額の軽減と返済期間の長期化を交渉しましょう。

また、後に条件の良い融資制度が講じられる場合もあります。 慎重に行動しましょう。

早めに復興計画を...！ 完璧な計画でなくても構いません。

今日の情報が明日の情報として活用できない今は、完璧な計画は必要ありません。  
とにかく現状を正確に把握し、その対応策を練りましょう。

被害状況の把握（建物・製造ライン・物流）

3週間での影響

3週間での復旧（影響に対するの対応とその成果）

今後、起こり得る可能性事由（希望的可能性より現実的な分析が重要です）

に対するの対応策

日々、変化する被害状況の記録を忘れないでください。写真や文字で必ず残しておく事。特に、取引先からの被害情報や休業案内など、この震災に関わるもの全てを残しておきましょう。 また、口頭での報告（営業活動内で社員へ伝えられた事柄など）の場合は、その報告内容を社内文書として作成し、保管しましょう。

その計画を情報発信（取引先・金融機関）に発信し、毎日計画のチェック、見直しを随時更新していきましょう。

**立ちあがれないことより、立ちあがろうとしないのは最も罪である！！**